

Brown Bag Seminar

No. 063

オンライン
録画期間限定公開
(Zoom)
登録はこちら



2022
8.31 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_rS5Hssa_Sq6QcBKrZTRmdA

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

脳の疾患と免疫応答

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

伊藤 美菜子 准教授

生体防御医学研究所



福岡県出身で2007年に設立された九州大学医学部生命科学科に一期生として入学しました。学部卒業後、九州大学医学研究院医科学専攻ウイルス学分野で修士号を取得しました。その後、慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室で博士号を取得しました。引き続き、慶應義塾大学で特任助教と講師として、脳梗塞後の免疫応答とその意義について研究を行ってきました。2020年2月より、九州大学生体防御医学研究所のテニュアトラック独立准教授として九州大学に戻ってきました。現在は脳梗塞に限らず、様々な中枢神経系疾患における免疫細胞の役割について研究を続けています。

近年、神経系と免疫系の連関が注目されています。アルツハイマー病などの神経変性疾患に加え、自閉スペクトラム症 (ASD) などの精神疾患の病態においても免疫系の関与が強く示唆されはじめています。また、脳の発達や老化にも免疫細胞が関与していることも分かってきました。このような病態時・発達時・老化時など様々なイベントにおいて、多種多様な免疫細胞と神経系細胞との相互作用が重要であると考えられます。

これまで我々はマウス脳梗塞モデルを用いて、脳梗塞後の免疫応答による炎症や神経症状の制御メカニズムについて報告してきました。本セミナーでは、様々な中枢神経系疾患や脳の発達期における脳内免疫応答について紹介します。

Key Words

免疫応答

中枢神経系疾患